

一般質問

■災害対応について

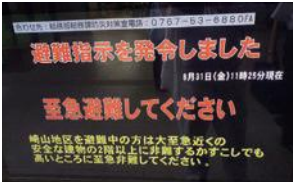
今回の豪雨等の教訓を生かせ！

質問 8月31日の豪雨で、災害対策本部を立ち上げなかったことが新聞で報道され、市長は「全体的な大規模災害ではなかった。地域限定的だから災害対策本部を立ち上げなかった」と報じられ、市内全域で河川の氾濫、道路の冠水が発生しているのに信じがたい報道だった。市長がこういうことを言うはずがないと思うが、災害対策本部に対する考えを伺う。また、今回、指定施設の避難所が冠水し、行けない事態も起きた。避難所ルートの見直しについても見解を伺う。

答弁 新聞報道のようなことはない。具体的に発生した地区を特定し、災害対応も順に段階を経て対応していた。各情報が入り、逼迫した現場に対応するため、住民を安全な場所に移すことを最優先した。現場は、災害対策本部体制で規定されている各班がそれぞれの役割を行い、結果として人的被害もなく対応できた。災害対策本部は、震度5以上の地震などの相当規模の災害が発生し、その範囲から設置するものであるが、9月4日の台風では、本州を直撃する可能性が極めて高かったため、災害対策本部を設置し、市民の安全確保に万全を期した。また、避難所については、地域の方と協議し、他の避難施設の開設も含めて、今後検討していきたい。



永崎 陽 議員
(新政会)



ケーブルテレビで避難指示をお知らせ

- 【その他の質問項目】
- 田鶴浜七尾道路
- 施設整備に伴う投資と回収
- コミュニケーションセンター
- 学習状況改善
- 交流人口拡大

- 【その他の質問項目】
- 小中学校の安全対策
- 観光振興

質問 今回の記録的大雨などにより、県道2号線がたびたび通行止めになり、白馬町や細口町にかけては住宅や商店が一時孤立状態になった。また、帰宅困難や営業ができないうちなど、多くの方に不便と迷惑をかけ、経済損失も大きいと考える。この状況を何とかすべきである。河川工事がなかなか進まないとのことだが、経済損失も大きいことを考えると、早急な対応をお願いしたい。

答弁 主要地方道七尾・羽咋線の冠水による通行止め区間については、鷹合川の未改修部分、細口交差点付近より上流部分で、未改修区間と並行して発生している現状である。鷹合川については、現在、国分1号橋など橋梁架け替え工事および堤防の盛り土が行われている状況である。事業主体の石川県とすれば、まず整備中の区間の残る橋梁3橋の架け替えと架道の掘削などを行い、早期の工事完成に向けて取り組み、地域の治水安全度の向上を図るということである。七尾市としても、今回の河川氾濫を踏まえ、河川改修の延伸、主要地方道七尾・羽咋線の改良について、河川管理者である石川県に引き続き強く強く要望していきたい。

一般質問

■集中豪雨等における災害の迅速な対応

鷹合川の早急な河川工事を！



徳田 正則 議員
(新政会)



鷹合川

